



昭和49年  
12月 号

発行所 東郷町役場  
編集人

# 火災をなくそう

## 暖房器具を正しく使おう

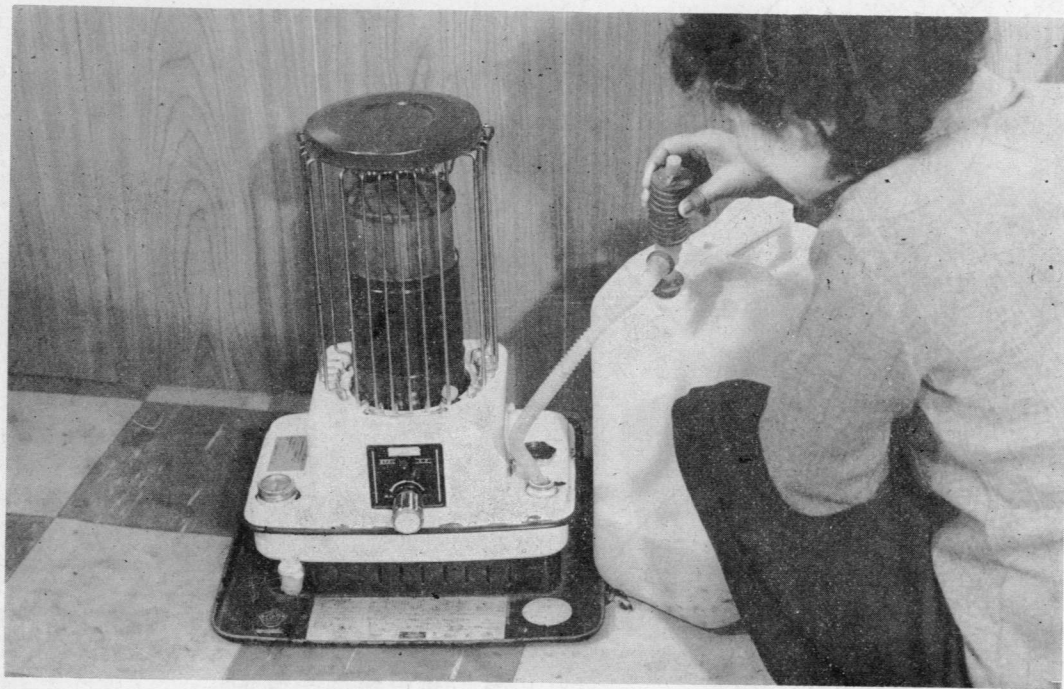
わたしたちの生活にとって、冬の暖房はなくてはならないものになっており、寒さの到来とともにこの家庭でも各種の暖房器具が使われはじめます。最近の暖房はセントラルヒーティング・システムなどはじめ、暖房の効率化、合理化などからドラックスなものも普及してきています。しかし、やはり一般家庭で最も多く使用されているものは、ストーブとこたつです。

ところで、一般家庭に多く普及している灯油を燃料とする移動式ストーブについては、昨年一月から地震などの場合に自動的に消火する装置、または、自動的に燃料の供給を停止する装置を設けたものを使用しなければならぬことになりました。したがって、今後

新たに購入されるものについてはこの対震自動消火装置のついた器具にするよう心がけてください。ストーブやこたつなどの暖房器具を使用するにあたり、次の点に注意して、安全な取扱いをして火災などの事故をなくしましょう。

- ① 出入口、通路、階段下など人の出入りする位置で使用しない。
- ② カーテン、ふすまなど燃えやすいものの近くで使用しない。
- ③ 説明書をよく読み、正しい方法で使用する。
- ④ 火をつけたままの石油ストーブを持ち運ばない。
- ⑤ 使い終わったときは、完全に火の消えたことを確かめる。
- ⑥ 電気こたつ、電気あんかなどを使うときはたこ足配線を使用しない。

第三日曜日(十五日)は家庭の日



### 点滴

消費生活 朝晩の冷え

こみが強くなり、寒さは日一日ときびしさをまし、ことしもいよいよ最後の月になってしまいました。

▽先月九日と十日の二日間、中央公民館で「消費生活展示会」が開かれ、三百人が入場しました。物価の恒常的上昇、新製品の出現と知識の不足、商品の不当標示、有害食品の増加など消費者をめぐって諸種の問題が生じています。

▽町では消費者のみなさんが、消費生活のうえで安心して衣食住の生活を営むための手助けをしています。その一つがこの展示会です。ほかに消費生活一日教室、移動消費生活センターも開いています。AF2や合性洗剤の有害説がテレビなどで報道されたときに心配し、ふだんは知らんふりでは困ります。安全で健康な生活を営むために、消費生活について考えましょう。

飲む湯にも焚火のけむり匂ひたる山家の冬の夕餉なり  
牧 水

.....として保存しましょう.....

＝昭和48年度決算から＝

# 東郷病院など建設

## 歳入の36%は地方交付税

昭和四十八年度東郷町の一般会計と特別会計の決算が九月定例町議会で認定されましたので、その状況を報告します。

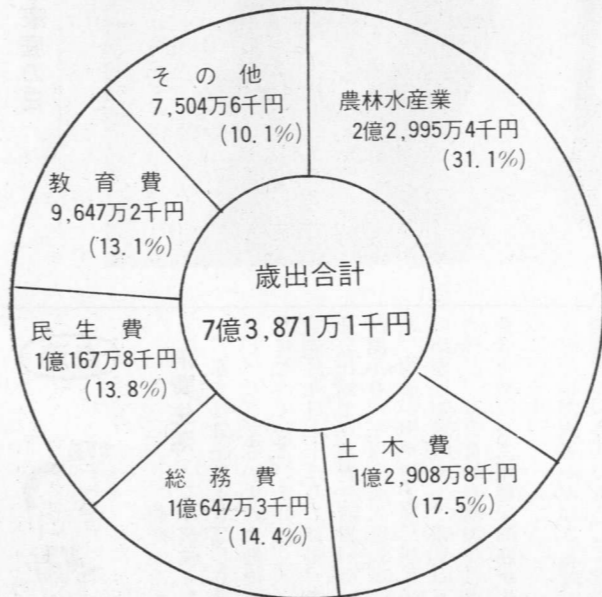
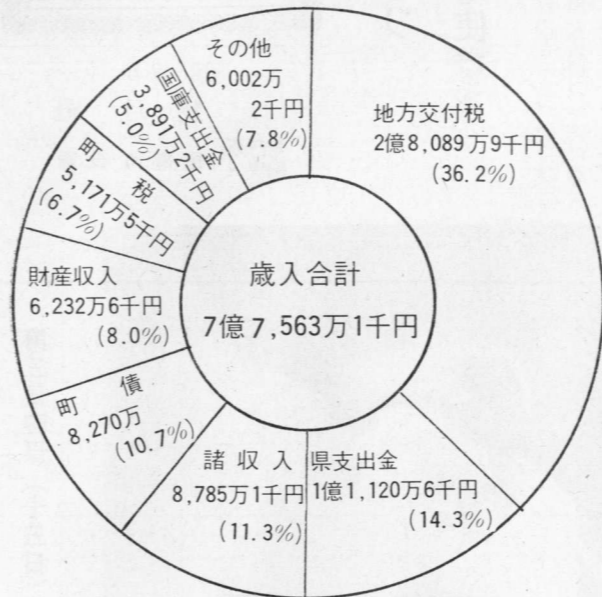
### 一般会計

四十八年度予算は①農林業の振興②社会福祉事業の推進③道路交通網の整備充実④広域行政の推進⑤教育の振興⑥農村工業の導入促進などを重点施策として三月定例議会で成立しました。年度途中

において、松尾林道改良工事、八重原公民館建設工事などの追加事業、人事院勧告に基づく職員給与の改定などの必要経費に充当するため十一回の補正を行い、予算総額七億五千五百九十八万六千円となりました。この予算執行の実績は歳入において収入総額七億七千五百六十三万一千円で予算に対し二・五%の増収となりました。これは町税をはじめ地方交付税などの各種交付金、財産収入などが増したためです。

歳入歳出の決算状況は別図のとおりです。歳入は前年に比べ一億三千九百九十九万九千円の増で、その構成比は地方交付税が最も高く三六・二%を占め、ついで県支出金諸収入、財産収入の順になっており、不足する財源については町債をもって補う結果となりました。歳出では前年に比べ一億一千四百三十三万二千円の増で、その構成比

を目的別にみると、農林水産業費が三一・一%、以下土木費、総務費、民生費、教育費がそれぞれ高いウエイトを占め、重要施策の遂行を裏付けています。なおこの歳出を性質別にみまると、普通建設事業費が一番高く、三億二千四百二十七万五千円で四五・九%を占めています。ついで人件費が二億五千九百六十二万二千円で二七・三%、補助費等が五千四百六十六万二千円で七・四%、物件費が五千三百二十三万二千円で七・一%の順になり、歳出構成費はほぼ好ましい結果となっています。



## 東郷小にプールを建設

四十八年度事業の成果の主なものとは次のとおりです。

### 総務費

民間放送テレビ難視地区の解消をはかるため、熊山中継放送施設を建設し町民の文化の向上につとめました。また町民多数の参加を得て第一回町民大会を開催しました。

### 民生費

社会福祉事業の中でも特に、医療費助成、健康診査など老人福祉対策を

積極的に推進しました。鶴野内地区に生活改善センターを建設し、農村の食生活改善や研修の場となりました。

### 衛生費

各種予防接種や住民検診を積極的に推進し、成人病対策として四十歳から六十四歳までの成人者の健康診査を行いました。また四十七年度から建設に着手した日向・東郷し尿処理場が完成し、操業を始めま

## 農林水産業費

米の生産調整、みかん価格の暴落などきびしい農業情勢の中にあつて、基幹作目以外の新作目の発掘、販売流通の確保、後継者育成など農業の振興に積極的に取り組まれました。特に肉用牛の生産拡大を図るためモデル地区として仲瀬赤松地区に飼料基盤整備事業を実施しました。

耕地事業では六地区の農道改良工事および農道舗装工事を行いました。三年目を迎えた国営美々津地区農地開発事業は、新たに農地造成三十三・八三、桑、みかん

## 町営住宅の建設

### 土木費

継続事業として改橋一稲葉野線をはじめ六路線の拡中改良や山下吐橋外一橋の架替工事を実施しました。その結果町道の改良済延長は四万五千八百七〇となり改良率は四四%になりました。道路舗装工事は下流地区外九路線の舗装を行い、町道の舗装延長は一万四千六百九十七、舗装率は一四%になりました。

### 消防費

交通事故による負傷者を医療機関に搬送する救急応援協定を日向市消防本部と結び、交通事故に備えました。また四十八年度中の火災発生は迫野内山林火災ほか五件(家屋二、山林三)でした。

### 特別会計

※国民健康保険事業会計  
歳入 一億一千九百九十五万二千円  
歳出 九千八百八十六万五千円

※簡易水道事業会計  
歳入 一億一千七百六十九千円  
歳出 一億一千六百四十七万七千円

※病院事業会計  
歳入 七千七百五十五千円  
歳出 七千六百四十八万六千円

老杯化した病院施設を四十八年度と四十九年度の二カ年継続事業として移転改築に着手し、施設の近代化と医療サービスの質的向上に努めました。



町民の健康確保・町立病院



東郷小学校のプール



町営住宅山陰団地

昭和49年を送る

# 明日に生きる決意を

町長 小野 弘



今年もあと一カ月で過去になってゆきます。この一年間、町政振興に努力された町民のみなさんに深い敬意と感謝を申しあげます。ふりかえって、昭和四十九年はまことに激動の年であったと思えます。国際的には、昨年来石油の問題に端を発した経済界はこの一年も石油問題を中心とした経済動向にふりまわされた形となり、各国とも不況、インフレの終息に全力をあげて対策を講じてきました。結局は来年に持越しの状態です。

## 幕別町と縁結び

政界にあっては七月の参議院議員選挙を機に異変が起り、与野党の混迷がつづいています。さらに先般アメリカ大統領の訪問を機にその混迷は極度に達したかの感があります。政財界はそれぞれ多くの問題を明年に持越し、五十年に期待することが大きいようです。このような状況にあって、本町の一年間もさまざまの事績を残して昭和四十九年を送ることにいたしました。

わたしは、年の始めは「明日に飛躍するため、物を大事にする耐乏の生活」を提言しましたが、はたしてどれだけの実績を得たでしょうか。資源の不足が再認識され、物価高がおたがいの生活を圧迫している今日、物を大事にする耐乏の生活をつづけることは、明年においても変らないところではないでしょうか。

## 町予算11億円突破

### 幕別町と縁結び

本町には十三の部落があり、その適正規模、行政の効率から部落の再編成が企画されていますが、実現はなかなか容易ではありません。しかし坪谷区民と瀬平区民の

## 迫野内で山林火災

文化方面では民放テレビ中継東郷局が開局、テレビの難視聴が解消されました。七月には宮崎山形屋で牧水とふるさと展を開催、牧水関係にも石井みさき著「父若山牧水」黒木晩石著「若山牧水」その歌とふるさと、大岡信著若山牧水紀行「今日も旅ゆく」などが刊行され、牧水顕彰会では牧水カルタを発売することになっています。

- ▼東郷町の10大ニュース▲
- 幕別町と姉妹町になる(二月)
- 町議と青年が幕別町を訪問
- 鶴野内地区生活改善センターが完成(三月)
- 町旗制定(四月)
- 坪谷区と瀬平区が合併して坪谷区となる(四月)
- 横瀬・宮ヶ原集落再編モデル事業完成(四月)
- 飼料基盤整備事業で赤松橋が完成(五月)
- 町立国民健康保険病院が完成(七月)
- 国道三二七号線に八重原大橋が完成(八月)
- 乳幼児入院費助成(四月)と高額療養給付制度(七月)始まる。
- 第二次(山陰地区)農業構造改善事業に着手。

わが国も例外でなく、物価の高騰に悩むとともに、国際収支は赤字となり、このため総需要の抑制金融引締め措置がとられました。が、国内は不況と物価高にかつてない深刻な状況に襲われていま

わが国も例外でなく、物価の高騰に悩むとともに、国際収支は赤字となり、このため総需要の抑制金融引締め措置がとられました。が、国内は不況と物価高にかつてない深刻な状況に襲われていま

わが国も例外でなく、物価の高騰に悩むとともに、国際収支は赤字となり、このため総需要の抑制金融引締め措置がとられました。が、国内は不況と物価高にかつてない深刻な状況に襲われていま

わが国も例外でなく、物価の高騰に悩むとともに、国際収支は赤字となり、このため総需要の抑制金融引締め措置がとられました。が、国内は不況と物価高にかつてない深刻な状況に襲われていま

わが国も例外でなく、物価の高騰に悩むとともに、国際収支は赤字となり、このため総需要の抑制金融引締め措置がとられました。が、国内は不況と物価高にかつてない深刻な状況に襲われていま



## 第2回町民大会で確認 町民憲章を實踐しよう

激しく変ぼうとする社会情勢に対応して、たくましく生き、豊かな情操と高い知性をもって明るい社会、住みよい郷土を建設しよう

## 町政功労者の表彰

町民歌斉唱で開会した町民大会では、坪谷の那須久美子さん(三〇)が町民憲章を朗読し、町民こぞって町民憲章を實踐しよう確認しました。大会会長の小野町長が、

「多数のみなさんから参加していただき、おたがいに力を合わせてこれからの東郷町の産業、文化の発展と福祉の向上に精進しよう」とあいさつし、町政功労者として鶴野内の三原房吉さん(三三)と坪谷の山本源宗さん(三〇)を表彰しました。

## 農業施策は正しい統計から

### 二月に農業センサス

来年二月一日に一九七五年農業センサスが行なわれます。この調査は、戦後の昭和二十五年以降五年ごとに行なわれ、わが国農業の最も基本的な統計調査として、文字どおり戦後における農業発展の歴史とともに歩んできました。この間、その調査結果は国・県・市町村をはじめ各方面で、農業振興あるいは地域発展計画などの基礎資料として、広く活用されてきました。

言、決議文を朗読し、参加者全員で採択しました。最後に、NHKの山城啓一郎解説副委員長が「これからの政治動向」と題して記念講演を行ないました。

- 山之口 黒木義彦、吉牟田 鶴田義男(福瀬) 鶴戸木 山谷得成、日田尾 高尾武久、鳥川 塩月秀幸、広瀬 岩田光夫、下村 糸平嘉幸、上村 岡田宗一、上村 二新名甫史、上村 三直野忠、仲野原 一 直野哲義、仲野原 二 直野重登、仲野原 三 直野喜一郎、出口 高木一教
- (小野田) 大谷 橋口清、小野田 海野和幸、又江野 関野勇
- (鶴野内) 前田 一山富栄、中水流 矢野森一郎、下村 新本幸男、上村 三原正喜、大工野 白浜 塩月東(迫野内) 東上 伊東今朝八、東下 黒田幸信、地内 成実米見、西谷 佐藤兼義、鹿瀬 池田平美(八重原) 上 高山博、下 橋本毅
- (田野) 田野 田原一義、ワラビノ 小野三千樹、稲葉野 川原泉(羽坂) 羽坂硯野 成合龜行、沖水流 寺原照人、井尻 小長野 清水樹、深瀬 那須利光、日下道 樋田 藤井柳太郎
- (仲深) 下仲瀬 若杉広美、久居原 三浦神、野々崎 中谷敏、深谷 三河政三、下水流 三好義弘(坪谷) 石原 矢野茂美、本村 寺原仁一郎、赤井 笠山本勢子、上野原 三浦正政、市谷原 井上幸夫、市谷川崎 矢野周、多武ノ木 富山勲、仲崎 矢野松樹、瀬平 那須和昭、(越表) 田口八ツ山 菊池哲男、児洗 橋口重盛、中水流 佐藤欣一
- (下渡川) 下渡川 日高清

激しく変ぼうとする社会情勢に対応して、たくましく生き、豊かな情操と高い知性をもって明るい社会、住みよい郷土を建設しよう

激しく変ぼうとする社会情勢に対応して、たくましく生き、豊かな情操と高い知性をもって明るい社会、住みよい郷土を建設しよう

激しく変ぼうとする社会情勢に対応して、たくましく生き、豊かな情操と高い知性をもって明るい社会、住みよい郷土を建設しよう

激しく変ぼうとする社会情勢に対応して、たくましく生き、豊かな情操と高い知性をもって明るい社会、住みよい郷土を建設しよう

- (寺迫) 長崎 安藤勝憲、上庭田 黒木睦美、下庭田 黒木捨法、落鹿 植野誠、寺迫 高野今朝男

### 年末年始の交通事故防止

## 酒酔い運転追放!!

当たるなどの、年間を通じて交通事故が多発する時期です。

#### 幼児の飛出し注意

昨年十二月の交通事故の死亡事故発生状況を原因別にみると、車両関係では「酒酔い運転」「わき見運転」「最高速度違反」が最も多く、歩行者では「車の直前直後の横断」「路上へのとび出し」が多くなっています。

年末年始の交通事故防止のため次のことに注意してください。

**飲酒運転の追放** 年始にかけて飲酒運転による事故は増加のおそれがありますので、運転者はもち

ろん、家庭、地域、職場、酒類提供業者もそろって「酒を飲んだら運転しない、運転するときは酒を飲まない」ことを徹底しましょう。

#### 車の点検整備

仕事に追われていないとき、は車の点検、整備がおろそかになりがちです。定期点検はもちろん始業点検を確実に、十分整備された車を運転しましょう。

#### 横断歩道の利用

交差点を道路を横断するときは、近くの横断歩道を利用し、左右の安全を確かめて渡りましょう。幼児はおとなが必ず手を引いて、一人歩きをさせないようにしましょう。

## 農業者年金に加入しよう

交通事故とくに死亡事故をなくすことは世界の願いであり、最近では全体として減少の傾向にあります。しかし皆無となったわけではなく、とりわけ年末になって死亡事故が連続してきました。十月十四日には諸塚村で、飲酒運転が原因とみられるダム転落事故によって二人が死亡し、十一月一日現在県内で百五人、日向警察署管内で十五人、本町でも一人がなくなっています。

十二月は昔から「師走」といわれるとおりあわただしい時期でもあり、年始(一月)とともに飲酒の機会も多く、また輸送繁忙期に

農業者年金は、農業者であるみなさんの年金であるとともに、長い間のみなさんの熱望にこたえて農業者の老後の生活安定と農業経営の近代化をはかるためつくられたもので、ことしで四年目を迎えました。

格のある人でまだ加入していない人がかなりおられます。ことし一月から年金給付の一つである脱退一時金と死亡一時金の給付が開始されており、農業者年金の本格的給付である経営移譲年金は昭和五十一年一月から、また農業者老齢年金は五十六年一月からそれぞれ給付が開始することになっています。このように、本格的給付の始まるのもうまもなくです。

年金の加入手続きは、日向農業協同組合東郷支店で行なっていますので、農協または町農業委員会へ相談して加入手続きをすませてください。なお、今まで一カ月に七百五十円であった農業者年金の保険料が来年一月から千六百五十円に引上げられました。これにもなつて年金給付額も別表のとくり改正されます。

### 年金給付額(月額)の新旧対照表

保険料納付済期間	経営移譲年金		農業者老齢年金	
	新	旧	新	旧
5年	円 17,600	円 8,000	円 2,200	円 1,000
20	円 35,200	円 16,000	円 8,800	円 4,000
25	円 44,000	円 20,000	円 11,000	円 5,000
30	円 52,800	円 24,000	円 13,200	円 6,000

#### 手続きは農協で

年金は加入している期間が長ければ長いほど有利です。また、早い時期に加入しないと年金がもらえなくなる人も出てくる心配があります。年金に加入していない人はすぐに加入していただき、将来にそなえていたいただきたいものだと思います。

町では、明年一月五日に、新しくおとなの仲間入りをする若い人びとを招いて「成人式」をひらきます。

中央公民館が会場で、午前九時三十分開会です。該当者は昭和十九年四月二日から三十年四月一日までの間に生れた四十九人。名簿もれの人には連絡(電話五六五七)してください。

▽寺迫 海野富美雄、渡辺良夫、山本美代子、山本栄、新保吉富、黒木正敏、黒木武利、安藤弘子、黒木美代子、▽福瀬 鈴木和枝、直野幸二、岩田政詞、岩本光国、塩月高代、吉田優美恵、川越和憲、▽小野田 畠原精三、木村逸子、米田公生、▽鶴野内 菊池恭子、衛藤由久子、糸平輝美、川越秀作、原田絹子、湯元すい子、黒木孝利、寺田千恵子、佐藤あや子、渡部洋子、▽八重原 山口猛、河野精一、福畑ひとみ、▽田野 児玉富士夫、小川ゆみ子、▽羽坂 吉田洋子、海野俊美、▽仲深 山本建男、中谷睦美、西口静代、中谷正史、橋口丸美、▽坪谷 矢野まり子、富山千穂、富山千代美、那須久美子、那須洋助、春田三津枝、▽越表 川戸近志、長友弘幸。

## 49人が新成人

1月5日に町式典

## サップも産業祭

相撲など文化祭にぎわう

十一月三日から二十一日までの期間、町文化祭が開かれました。三日の弓道大会を皮切りに尾鈴寒ラン展、婦人学級生の生花展、消費生活展示会、公民館バレーボール大会、相撲大会、学校作品展、小中学校の球技大会、中学校柔道大会、サップ産業祭とにぎやかにくりひろげられました。

町内外から四十人のアマチュア力士が熱戦をくりひろげた相撲大会では、坪谷中学校の男子十人も初めて参加し、観戦のおとしよりたちからさかんな応援を受けていました。町内の相撲熱が盛りあがるなか、たのしい後継者に関係者も勇気づけられていました。



仲深公民館でバレーボール

## 家族ぐるみで楽しむ



十一月三日の文化の日に、仲深公民館で区民あけてのバレーボール大会が開かれました。町体協が組織され本町のスポーツ熱の高まりのなか、坪谷中学校の体育館に集った選手と応援者百五十人が、一日中ながやかにバレーボールを楽しんでいました。

組合ごとに男女混成の五チームがリーグ戦でたたかいましたが、一カ月にわたって夜間の練習をつづけてきたというだけあって、実力伯仲、好ゲームに会場はわいていました。今年で二回目というこの大会には、ほとんどの家庭から家族ぐるみで参加し、珍プレー我を忘れての応援とにぎやかなバレーボール大会の一日でした。

## 郷土のあゆみ(24)

塩月儀市

### 十一、明治時代(九)

藩政時代から本町民の生業の一つであった製炭業は、今から約百七十年前位前の文化年間、延岡の石見屋が山陰に酒造場を作り、山林を占有して、本町農民を焼子として賃焼製炭を経営しました。当時の日向炭はすべて白炭でしたが、大阪市場で名産の高かった福瀬炭は半白炭でした。この福瀬炭の技術がいつごろから起つたか記録などもないので不明ですが、他からの技術の移入ではなく、この地方での偶然的な発見でしょう。明治初期の本町の木炭の生産高は三万俵です。

石見屋は明治初年に製炭を放棄しましたが、その後は美々津幸協の船主問屋の前貸金制下ににぎられました。

当時の製炭者は耳川筋一帯に位置する各部落の農民で、ほとんど豊閑期の副業的製炭でした。福瀬区ですと山林の三分の一、約一千畝余は部落有林で、残り二千畝は私有林でした。製炭者は総じて零細農民です。買入炭材によらなければなりません。その資金を美々津、幸協の船主問屋から前借しました。製炭はすべて自宅からの通い焼で、年生産二百五十俵以下で

した。木炭は川舟で耳川を下し美々津、幸協の船主問屋に委託の形で引渡し、船主の倉庫に保管し、後日持船で大阪の木炭問屋に運送しました。

大阪の問屋からは生産者に仕切書が船主問屋を経由して返送されました。船主問屋はその仕切書をもとに、これから前貸金の利子(月一分五厘)、倉庫料、保険料、検査料その他を差引いて製炭者に支払いました。製炭者の実収入はいったって僅少でした。

そのため前借金の返済不能のため山林の質入などが深化して部落は疲弊(ひへい)の一途をたどり、山林は大方美々津、幸協の船問屋の所有となり、ました。このありさまをいたく心配して田辺清吉翁が主唱して、明治十六年八月に福瀬商社を創設して直接大阪の木炭問屋との取引を開始して利潤をあげ、明治二十二年には美々津、幸協の船問屋から再び福瀬部落民の手に買い返すことができました。この詳細は福瀬小学校庭に建てられている開商の碑に刻されています。

この商社の結成に呼応して明治二十年に鳥川の塩月伊助、塩月銀次郎両氏が持船一そう、借船一そうで船問屋を始めました。炭価の下落や難船などにあつて衰滅しました。

お知らせ



九電からおねがい

最近、交通事故や伐採による停電事故が多発しています。とくに先月は町内でこれらの事故による停電があいつぎ、多くの人たちが迷惑をうけました。原因はしいたけ原木を伐採中に、伐木が配電線に接触したためです。九電ではつぎのことを注意してほしいとよび

- ①電線路近くでの伐採は無断でしないで、二、三日前までに連絡すると九電が立会い、指示などをします。
- ②事故の現場を発見したときは、危険ですからさわらずに、すぐ連絡してください。連絡が早ければ復旧作業も早くでき、停電時間も短くなります。

九電電力日向営業所

電話②二一八一番

保険料の改正

国民年金のスライド計算による年金額引き上げにともない、きよ出国民年金の保険料が、来年一月から男女、年齢を問わず一人一カ月千五百円となります。

ひとり暮らしに  
いたわりを



八日に青年祭

十二月八日、午前九時より中央公民館で「第二回青年祭」が開かれます。郷土に生きる青年たちが一堂に集り、郷土の文化継承と青年同志の友情を深め、自己の確立と明るい社会、郷土、家庭づくりに努力しようと聞くものです。

行事内容

- ▽主張、意見発表 青年たちが日ごろ考えていることを主張し、意見の交換をします。
- ▽北海道物産展示即売会 姉妹町である蓉別町を紹介し、あわせで大豆、小豆、とうもろこしなどを即売します。
- ▽芸能大会 郷土に残る芸能を継承し、広く一般に公開します。

県民手帳のあつせん

一九七五年版県民手帳のあつせんをしています。執務に…家庭にぜひ一冊お求めください。価格は一冊二百三十円で、企画開発課で取扱っています。

牧水カルタ頒布

牧水カルタがでさあがりまりましたので、ご希望の人は牧水顕彰会にてお求めください。価格は一組千五百円（郵送のときは別に五百円加算）。牧水記念館および県内主要書店でも発売されます。

今月の納税

国民健康保険税 五期  
固定資産税 三期  
納期 十二月二十五日

善意のともしび

◆仲深区のと田畠喜さんから故政市さんの忌明けに◆日向市の寺原トシ子さんから故秀治さんの忌明けに◆迫野内区の川口利雄さんから故千代松さんの忌明けに◆小野田区の羽田ハツエさんから故文吉さんの忌明けに◆坪谷区の半田長行さんから故ケイさんの忌明けに◆鶴野内区の黒木利夫さんから故熊吉さんの忌明けに◆同区の寺原照和さんから故ハツさんの忌明けに香典返しとしてそれぞれ町社会福祉協議会にご寄付いただきました。ここに慎んで故人のご冥福をお祈りしますとともに厚くお礼

人	口
49年11月1日現在	( )は対前月比
男	3,424人 (+14)
女	3,655人 (+10)
総数	7,079人 (+24)
世帯数	1,797世帯 (+3)

戸籍の窓

十月届出分

出生おめでとう

赤ちゃんの名	(父の名)	部落
黒木千秋	悟	迫野内
高尾勝利	信	福瀬
三原育子	武雄	羽坂
吉野千恵美	逸雄	鶴野内

結婚おめでとう

氏名	部落
黒木 ナツエ	迫野内
富河 芳典	西郷村
黒海 二子	越前市
黒海 陽子	越前市
黒海 麗達	迫野内
黒海 子男	八重原
田中 麗達	木城町

冥福を祈ります

氏名	年令	部落
児玉清六	九五	鶴野内
寺田久雄	五一	"
寺原ハツ	八〇	"
半田ケイ	八二	坪谷

を申しあげます。

◆日向市の宮本善さんから、自分で育てられた花木の苗(きょうちくとう)十五本に現金を添えてご寄付いただきました。その善意に深く感謝申しあげます。  
東郷社会福祉協議会